

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

認知症カフェ 久米原 孝子 議員

(オレンジカフェ) について

議員 厚生労働省によりまずと認知症は今後増え続け2025年には700万人以上になると言われています。認知症本人とその家族をどう支えるかが今後の課題となります。そこで当市の認知症の人数について伺います。

ティアで来ていただく。いつでも好きなときに立ち寄れる龍ヶ崎スタイルのオレンジカフェを始めてはいかがですか。

健康福祉部長 65歳以上の高齢者のうち15%の方は認知症と推計されます。当市では平成29年10月1日現在65歳以上の高齢者数は2万715人であり、また約3100人の方が認知症の可能性があります。議員 同じ境遇の方たちのよりどころとなるオレンジカフェ。現状は月に1回開催ですが理想的には常時オープンでいつでも行けること。同じ思いを共有できる人と気軽にお茶のみができること。龍ヶ崎市役所内の一角にカフェを作り、話し相手は認知症サポーターなどからボラン



▲気軽に お茶のみを

- ◆掲載以外の質問項目
- ◆いじめ防止対策について
- ◆投票環境の充実について

選挙啓発活動 金剛寺 博 議員

推進で投票率向上を求める

議員 10月衆院選挙の投票率は過去最低。茨城3区でも9市町村中6番目。選管の評価を伺います。

総務部長 悪天候が影響。啓発活動を通じて投票率向上に努めます。

議員 昨年から高校2校、中学校3校では出前授業が実施されたが今後の取組推進の予定を伺います。

総務部長 出前授業は実施した学校はもろろんの

市民の負担増にならない財政健全化を

議員 最近の10年間の収支見込みでは平成39年推計で累積赤字約49億円、一般基金は約11億円減少、地方債は約21億増加の見込みです。財政健全化をどう進めますか。

総務部長 人件費・物件費の削減、公共下水道使用料、国民健康保険税の改定等が検討すべき課題です。

- ◆掲載以外の質問項目
- ◆介護保険、最近の法改正と課題について

岡部 賢士 議員

空家対策について

議員 開始予定の当市の空家バンク制度について、内容、利用条件等は。

都市環境部長 売却や賃貸を希望する所有者から受けた物件情報を登録し、利用希望者に情報提供するもの。市内の一戸建住宅で生活の場として機能しない空家は除く予定。

議員 一戸建住宅に限らず、空き店舗や空き地等、活用できる不動産は条件を絞る必要はないのでは。協定を締結した宅建協会等ともうまく連携をとりながら進めてほしい。

議員 文化会館の全体のバリアフリー化、駐車場増設についての見解を。

公共施設の利便性について

議員 文化会館の全体のバリアフリー化、駐車場増設についての見解を。

教育部長 利用者に優しい設備改修を進めたいが実現に至っていない。駐車場は45台程度増設の計画。

議員 財源不足から縮充

議員 全国版空家バンクには参画するのか。

都市環境部長 詳細を把握できていないが、活用も視野に入れて進めたい。

議員 空家バンク制度に関して当市は既に遅れているといった意識を持ち、全国版も上手に活用できるようスピード感を持った取り組みを！併せて、当市独自の支援制度やPRも！有効活用に関しては地域交流の場としての活用等、多様な組み合わせが考えられる。様々な角度から研究を進めるように。

の流れは理解できるが、現に不便に感じている方が多くいる状況。今後、施設整備を進める際には先を見越した設計を。ユニバーサルデザインの促進に、もっと力を入れていくことを強く要望する！

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

石引礼穂 議員

広域連携事業について

議員 11月14日に取手市との創業支援広域連携調印式及びMatch広域連携推進本部設立式が開催され、私も参加してきました。Matchhako事業の今後の方向性について伺います。

市民生活部長 Match

hako龍ヶ崎は創業間もない時期にある創業者同士が交流しやすいように配置したフリースペース、個室オフィス、ミーティングルームなどを兼ね備えており、Matchhako取手をはじめ、提携する民間のレンタルオフィスとも相互利用が可能となっています。現在19施設と相互利用の提携をしていますが、50施設を目標としています。また、社長塾や創業セミナーの開催をはじめ、起業者等への情報提供の1つとして発行しているフリーペーパー

子育て環境日本一 深沢幸子 議員

(児童発達ガイドライン)

議員 龍ヶ崎市らしい龍ヶ崎スタイルの5歳児健診を考えてはいかがか。

健康福祉部長 5歳児健診

について基本的には非常に有効であると認識しています。4歳児健診問診票に発達等の質問項目を追加し、龍ヶ崎スタイルの5歳児健診の構築を検討します。

議員 龍ヶ崎スタイルの5

歳児健診で早期発見・療育をしていくという強い決意で検討を。写真や絵文字等多用して障がい児や外国籍で日本語の理解が難しい子、高齢者等もやさしく読めるL1ブックの計画的な

市民活動日本一

議員 NPO法人認証等事務を県より権限移譲するべきでは。

市民生活部長 権限移譲に

ついて、他自治体へヒアリング及び県に確認します。議員 市長が目指す市民活

札野章俊 議員

市内雑草除去・街路樹剪定について

議員 各自治会や地域のボランティアの皆様に、道路の草刈りや低木の植木の剪定も含めて、里親の皆様から活動報告書を提出いただく際に、活動する上での困り事や市制度を充実すべきと考えます。都市環境部長 今後は里親の皆様から活動報告書を提出いただく際に、活動する上での困り事や市に期待する内容等を聴取していきます。

茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例について

議員 龍ヶ崎市独自に行いながら研究をしています。ペット(街猫)の避妊去勢手術の助成を行ってはいかがですか。

都市環境部長 独自の助成制度を設けている自治体がまだ少ない状況です。当市での導入については引き続き情報収集を

電動アシスト自転車の普及について

議員 お年寄りの行動範囲を狭くしないためにも電動アシスト自転車をもっと普及させたいと思います。都市環境部長 シェアサイクルを普及させるのはどう思いますか。



▲避妊去勢手術の助成を

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

国民健康保険税は 伊藤悦子議員 上げないことを求める

議員 来年度、国民健康保険の財政運営が県に移ることで、保険税がどうなるかと不安の声が高まっています。高い保険税は、命、生活に係る切実な問題です。保険税は上げないことを求めます。

健康福祉部長 被保険者の負担を考えると最大限の配慮を検討しなければと考えていますので慎重に取り組みます。

介護保険について

議員 来年度の介護保険料の改定は介護保険支払準備基金3億7417万円を使い保険料を上げないことを求めます。

健康福祉部長 基金は今後、増減が予想されるが保険料上昇緩和のため取り崩しも視野に入りたい。

議員 地域包括支援センターは高齢社会を支える要

農業政策について

議員 農業を地産地消、農業者の所得水準などの経済的な面、農産物の加工について、さらにはスマート農業などの観点から龍ケ崎市の農業の望ましい将来、あるべき姿をどう考えているのか。

市長 農業の活性化をいかに図っていくかが問われている。龍ケ崎市の農業の今後はスマート農業の導入も市としてしっかりと研究していかなければならない。流通関係者などと一体となった政策を

糸賀 淳議員

進めていく中で、6次産業化という可能性も広げていくことが重要です。

議員 龍ケ崎の農業政策を考えるに絶対必要だけれども、今、現在、欠けているのは龍ケ崎市の農業の将来ビジョンだ。これを農業関係者や市民と一緒にやって明確にして、地域の方、市職員など、みんなが同じ方向に進んでいけるものをつくっていくことを最優先して進めてほしい。

観光政策について

議員 これから道の駅が整備されるのをはじめ、オリンピックなどのビッグイベントを控えている。また、外国人旅行者が増加する中で龍ケ崎市として鳥瞰して見られる観光振興計画が必要だと考えるがいかがか。

市民生活部長 当市の個性を生かし、観光行政をより推進するため、観光基本計画や観光施策の必要性について研究していきたい。

一人暮らし 山宮留美子議員 高齢者緊急通報システムについて

議員 通信回線が多様化している現状の中でNETTのアナログ回線しか設置出来ない現状があります。安心安全のために今後の対応はどうなのか。

健康福祉部長 通信環境が多様化する中でそれにします。

NET119緊急通報システムについて

議員 聴覚や発語に障がいのある方が携帯電話やスマートフォンを使って音声通話を使用せず119に通話できるシステムですが、ぜひ早急に検討し、導入を

進めていただきたい。

市長 稲敷地方広域市町村圏にもメリットを共有出来るよう、早期の導入が可能であれば検討をしていきます。

消防団員の活動費について

議員 地域の協力金にも差がある現状の中で、善意の消防団員が思う存分活動できるように平等性を考えたうえで、市の予算に計上されている消防団員活動費を拡充し、地域の負担を無くしてはどうだろうか。

掲載以外の質問項目
◆不妊治療費について

危機管理監 全国の先進事例を参考に各分団への活動費の導入を調査研究していきます。

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

後藤光秀 議員

いじめ問題対策について

―匿名相談で早期いじめ対策を―

議員 平成29年の小中学校でのいじめの現状を伺います。ホームページから匿名で書きます。返答できるものがあるかどうか。いじめが解消したと判断されるのが1件、その他9件は教育センターと学校とが連携をしながら現在対応しています。

議員 相談アプリのほかにホームページから匿名で書き込み回答できるものがあるかどうか。いじめが解消したと判断されるのが1件、その他9件は教育センターと学校とが連携をしながら現在対応しています。

出し山町の環境整備について

議員 出し山第二児童公園前の道路は劣化しており、雨の翌日は水たまりがひどくなっています。

都市環境部長 確認したところ路面が傷んでおり、今年度中に補修を実施します。

議員 出し山町セブンイレブン裏手の交差点へ要望していた安全対策の対応はどのようになっていますか。

市民生活部長 警察署と協議の結果、4方向への停止線は難しい見解でしたが、交通量も危険性も高

油原信義 議員

人口減少問題に見る施策展開は！

議員 国立社会保障・人口問題研究所に準拠した龍ヶ崎市の人口推計では2040年には6万6733人、2060年には5万1479人としていきます。人口減少による地方のまち・生活への影響は様々であり、地域経済社会、地方財政、地域公共交通など、人口減少がもたらす影響を考えると今後の市政運営、施策の展開は人口減少対策にあるといっても過言ではない。龍ヶ崎市の人口動向から転出者を分析すると、家族が転出する要因となつた方は世帯主が41%、世帯主の子が48%、転出者の年齢は20歳代が51%、30歳代が23%。転出の主な要因は就職29%、転勤転職27%、結婚12%。世帯主の41%は転勤転職、世帯主の子48%は就職・結婚と考えられ、特に20歳代の男性の転出超過が大きいのが特徴。転出先の住まい形態は貸家64%、持ち家が24%。転出先の自治体を選んだ理由は「通勤通学に便利」が圧倒的で21%、「家賃が適正」が9・5%、「大型商業施設が充実」が7・6%。転出先は茨城県外が68・1%で東京都・千葉県が多い。茨城県の転入超過自治体は9市町でつくばみらい市・守谷市は公共交通の利便性と新しい住宅地、つくば市は前述プラス企業立地。阿見町・鹿嶋市・神栖市・ひたちなか市は企業立地。取手市は公共交通の利便性、牛久市は駅に近接した新しい住宅地が転入超過の要因と考えます。若い世代の定住促進策は通勤通学者の佐貫駅への利便性向上と雇用機会の確保策にあるのではないのでしょうか。

議員 中山市長はこれまで第1次龍ヶ崎戦略プラン、今年度からは第2次龍ヶ崎戦略プランを通じて、子育て環境日本一、市民活動日本一を目指した施策、住み替え支援策、企業誘致等、様々な対策をされてきたが、どのような効果があるのか。

市長 ふるさと龍ヶ崎戦略プランの諸施策を進めてきたところ、市民の利便性及び満足度の向上、子育て世代などのファミリー層の転入が増加傾向にあるなど、一定程度の成果をあげ、更に効果が上がっていくことを期待しています。また、私の体感では具体的な数字というような成果ではない部分もありますが、徐々に効果が表れている部分もあると信じています。

議員 中山市長は一定程度の成果がある。体感としてはそれなりの効果を感じているという回答ですが、非

大野誠一郎 議員

定住人口、交流人口の対策と効果について

議員 中山市長はこれまで第1次龍ヶ崎戦略プラン、今年度からは第2次龍ヶ崎戦略プランを通じて、子育て環境日本一、市民活動日本一を目指した施策、住み替え支援策、企業誘致等、様々な対策をされてきたが、どのような効果があるのか。

市長 ふるさと龍ヶ崎戦略プランの諸施策を進めてきたところ、市民の利便性及び満足度の向上、子育て世代などのファミリー層の転入が増加傾向にあるなど、一定程度の成果をあげ、更に効果が上がっていくことを期待しています。また、私の体感では具体的な数字というような成果ではない部分もありますが、徐々に効果が表れている部分もあると信じています。

議員 中山市長は一定程度の成果がある。体感としてはそれなりの効果を感じているという回答ですが、非

掲載以外の質問項目
◆小中学校音楽祭について

掲載以外の質問項目
◆龍ヶ崎市の合計特殊出生率について

掲載以外の質問項目
◆牛久沼の水質浄化の取り組みについて

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

日本版DMOに 大竹 昇 議員

よる当市観光地域づくりについて

議員 日本版DMOによる観光農業化及び観光地域づくりの地域資源を活用した支援策はいかがか。

総合政策部長 酒蔵やスポーツ大会等、全国各地にある特定テーマの観光資源化を目的とする取り組みを支援する国土交通省の地方

誘客事業をはじめ、地域特有の食とそれを支える農林水産業等を活用して訪日外国人をもてなす地域の取り組みを支援する農林水産省の食によるインバウンド対応推進事業等があります。

議員 農業もAIを有する時代です。IT活用の支援策をお聞かせください。

総合政策部長 データ利活用の促進等に必要なルールの明確化等を行う総務省のIoTサービス創出支援事業が該当します。

議員 地域の基盤を整備して魅力向上させる支援策はありますか。

総合政策部長 官民一体に

よる観光振興等地域活性化のための基盤整備推進支援事業が該当します。

議員 平成28年の訪日外国人旅行者の消費額と旅行者数をお答えください。

市民生活部長 消費額は3兆7467億円、旅行者数は2404万人です。

議員 成田空港では平成28年の訪日外国人は1430万人、消費額は2兆2922億円です。今、川原地区にて牛久沼土地改良区による経営体育成基盤整備事業の計画があり、この地区で日本版DMOの観光地域づくりの先駆けになる旅行目的づくりや米のブランド化や酒米づくり等の農業観光化を目指したらいかがでしょうか。

市長 歴史と伝統がある龍ヶ崎は昔、醸造のマチと言われたぐらい醸造が盛んだった。酒蔵を復活させ龍ヶ崎産の酒米を使って地酒をPRしたい。

杉野五郎 議員

当市財政状況を斬る！（第4弾）

―5年間で75億円の新規投資は無謀！―

議員 条例に基づく財政収支見通し（本年10月作成）によると、向こう10年の財政収支の累積赤字は50億円、これを基金残高で充当すると残高は6億円となり、ほぼ枯渇です。これでは福祉の縮小、負担増を市民に強い

ことは避けられないと考えるのがいかがか。

総務部長 これまで実施してきた財政健全化の取り組みを継続、強化するとともに、特別会計の独立性の向上と受益者負担の公平性の確保にも取り組んでいきます。

議員 今までの財政健全化での常套手段は人件費カットが主です。弱い立場の方を支える扶助費増加が予測されている歳出の削減は困難を極めるでしょう。75億円の新規7事業計画に大ナタを振らないと無理です。

新規事業計画の1つ、

新保健福祉施設建設についてです。対象地として適切と判断のうえ、昨年6000万円余で市役所東側、元テニスコートの土地を取得したとの答弁でしたが、この事業の進捗状況はいかがか。

健康福祉部長 平成31年度に基本設計を行い、平成35年度の供用開始を目指しています。3つの施設（保健センター、総合福祉センター、地域福祉会館）を複合化・多機能化して面積や施設コストを削減しつつ、施設機能を強化、充実させることが可能となります。

議員 現在の保健センターの場所は市民にとって非常にわかりにくく、入口道路は車がすれ違えない程狭く危険です。当該新施設は全世代の市民が利用します。「道の駅」よりも極めて優先度の高い事業です。早期実現を。

後藤敦志 議員

選挙翌日（平日）開票について

議員 本年執行された県知事・衆議院選挙における時間外勤務手当についてお聞きします。

総務部長 県知事選の時間外勤務手当の内訳は期日前投票が242万8534円、当日投票が392万568円です。このうち当日投票における最高支給額は投票事務に連続従事した者で6万9080円、開票事務のみの従事者で1万4941円です。

次に衆議院選は期日前投票が170万7134円、当日投票が533万7554円です。当日投票における最高支給額は投票事務の連続従事者で7万7872円、開票事務従事者で2万1979円です。

議員 投票事務はコストの多くが人件費になるのは当然ですが、仮に市長選挙で投票翌日の開票を行った場合、削減できるコストはいくらですか。また、翌日

開票のメリットやデメリットをお聞かせください。

総務部長 事務従事者70人、開票時間を3時間として試算すると約60万円の削減効果が見込まれます。翌日開票のメリットは人件費の削減や市外から公共交通機関で通勤する職員が増えていることから、深夜に帰宅手段を確保する必要がなくなる。デメリットは平日は窓口業務をはじめ、通常業務が行われているので通常業務に支障を来すものと考えています。

議員 投票日は平日でも良いわけですので平日の投票や翌日開票を含めて、ぜひ、市民、有権者の皆さんに意向調査をしていただければと思います。

掲載以外の質問項目

◆生産緑地の2022年間

題について

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

公共施設の再編成について

山崎孝一 議員

議員 6月の定例会でも申し上げましたが、北文間小学校が昨年度、廃校になりました。廃校跡を有効利用できないか、県内での廃校利用の様々な例をもとに早期解決をお願いしました。が、今のところ進展がありません。廃校舎並びに敷地を維持管理するだけでも年間、旧北文間小学校では約400万、旧長戸小学校では約500万が支出されています。そろそろ本腰を入れた対策をお願いしたいところです。そこで旧長戸、旧北文間小学校跡地の再利用について、現在の進捗状況をお聞きします。

北文間小学校の跡地活用については、すでに北文間コミュニティ協議会役員会や総会、市長との意見交換会において事前説明及び意見交換を行っています。また、本年6月文部科学省みんなの廃校プロジェクトに登録し、民間事業者8事業所から提案を受け、対話型市場調査を実施しているところ。議員 旧長戸小学校の跡地活用については地域の方と合意形成が取れたとのことですが、旧北文間小学校の跡地活用については、現在、民間8事業所から活用提案を受けているとのことですので今後とも地域の方のご意見、要望を反映しながら、また、民間事業者の活用提案を精査し、スピード感をもって取り組んでいただきますようお願いいたします。

掲載以外の質問項目

◆大規模火災への対応について

施設等総合管理計画について

龍ヶ崎市公共 坂本隆司 議員

―再利用を含めた施設の有効活用―

議員 わが国では高度成長期に公共施設やインフラを一斉に整備したために、一斉に更新時期を迎えるので公共施設更新問題は「時限爆弾」とも称され、自治体間共通の問題となつています。そこで公共施設の再編成はどのように計画されているのでしょうか。

の変更など個別施設の見直しを検討し、事業化を図る施設を5施設として順次事業に移す計画です。

議員 市役所内では、施設を管理運営する担当課と公共施設全体を総合的に管理する担当課が違つています。担当課同士の連携がなければ公共施設の有効活用ができません。しっかりと連携を図り、事業を進めてください。

議員 市役所内では、施設を管理運営する担当課と公共施設全体を総合的に管理する担当課が違つています。担当課同士の連携がなければ公共施設の有効活用ができません。しっかりと連携を図り、事業を進めてください。

防犯灯やカーブミラーの管理について

議員 防犯灯やカーブミラーは自治会から設置依頼があつて市が設置しています。市では自治会から依頼があつて設置した施設なので、自治会にも管理の協力をお願いしています。しかし、自治会で管理方法を把握しているのでしょうか。

議員 行政と市民が一体となり、お互いに負担がないように、公共施設の管理ができるようにお願いします。

市民生活部長 自治会長が集まる総会終了後に文書にて説明しています。しか

選任

公平委員会委員

公平委員は市職員から何らかの不利益処分（納得できない懲罰）があつたと審査請求された場合、その内容について調査、審理をし、裁決を行います。



あかし じゅんいち 氏 明石 順一 氏



せお さえこ 氏 瀬尾 紗衣子 氏



龍ヶ崎市議会のホームページをご覧ください

市議会のホームページでは議会に関する情報を掲載しています。パソコンや携帯電話でご覧になれます。

URL=<http://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/gikai/>

